

# 地域の課題解決プロボノプロジェクト説明会

## (課題整理ワークショップ) 開催レポート

2017年9月20日  
認定NPO法人サービスグラント

### 1. はじめに

町会・自治会は地域住民の互助のシステムとして近年注目を浴びてますが、同時に高齢化や加入率の低下等様々な問題を抱えていると言われていています。一方で、「いろんな世代が集えるような場づくりに取り組みたい」、「新しく引っ越してきた人も気軽に関われるようなまちにしたい」など、顔の見える繋がりづくりや、幅広い住民の関わるまちづくりに取り組む町会・自治会もあります。地域の課題解決に向けて積極的にチャレンジを行う町会・自治会を対象に、仕事の経験やスキルを活かした社会貢献活動「プロボノ」で会の活動基盤強化を応援する『地域の課題解決プロボノプロジェクト』の実施に当たり、本プロジェクトの内容の説明会を実施しました。説明会では、先進的な取り組みを行う町会の事例紹介と、自団体の課題を棚卸し・整理する課題整理ワークショップを同時開催しました。

### 2. 実施概要

#### ○開催日時

2017年7月26日(水) および30日(日) 各日13:30~16:00

#### ○開催場所

26日(水) ビジョンセンター東京(東京都中央区八重洲2-3-14) 401会議室

30日(土) 都庁(新宿区西新宿2-8-1) 第二庁舎ホール

#### ○開催スケジュールとプログラム内容

時間	内容
13:35~	地域の課題解決プロボノプロジェクト説明
13:50~	プロボノ活用事例紹介 <ゲスト> 26日 墨田区太平一丁目 太壱みまもりネットワーク 斎藤正樹氏 30日 東中野五丁目 小滝町会 岸哲也氏
14:30~	質疑応答
14:55~	課題整理ワークショップ ワーク①(50分) ありたい町会の姿と、それに向けた課題の棚卸 ワーク②(20分)

	最も重要度・緊急度が高い課題の選定 その課題解決に向けた解決策の検討 ワークショップまとめ (10分)
16:25～	まとめ・クロージング

#### ○事前の告知方法

- ・ 区市町村宛にプロジェクト説明会を実施し(6月5日)、区市町村担当者から町会・自治会に告知
- ・ 東京都を通じたプレスリリース

#### ○応募の受付方法

- ・ 東京都生活文化局宛に所定の申込用紙をメールまたはFAXにて申し込み

### 3. 参加人数

日にち	町会数	参加者数	ファシリテーター数***
26日(水)	13*	21**	2
30日(日)	25	37	6
計	37	58	8

\*事例紹介まで参加した町会が1町会あり

\*\*途中退席2名

\*\*\*ファシリテーターはプロボノワーカーが行った

### 4. 当日の流れ

#### ○地域の課題解決プロボノプロジェクト説明

プロボノの語源から本プロジェクトの概要、支援内容、支援申し込みの流れまでを参加町の皆様に説明しました。

【写真1】プロボノプロジェクト説明の様子(30日)



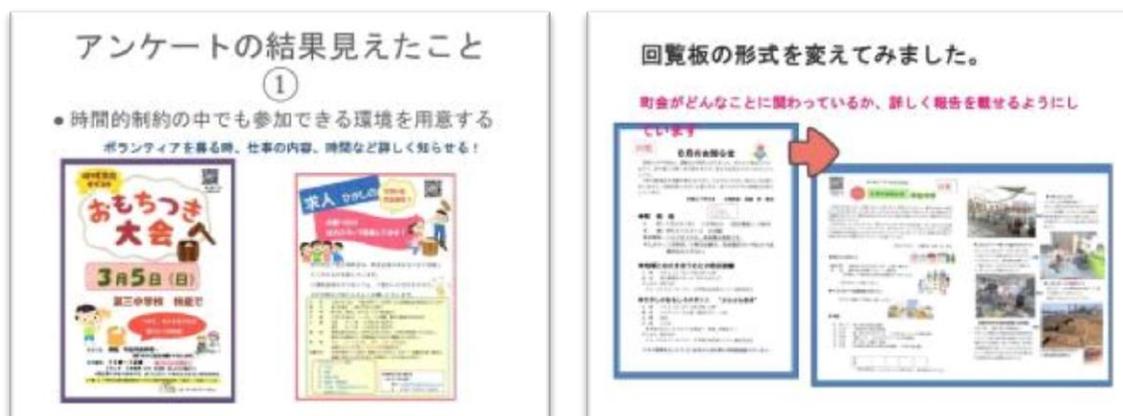
## ○プロボノ活用事例紹介

過去の東京都のプロジェクトにおいてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

【写真2】26日ゲスト太壺みまもりネットワーク斎藤氏（左）／30日ゲスト東中野五丁目小滝町会岸氏



【図版1・2】東中野五丁目小滝町会岸氏ご準備の資料



## ○事例紹介にて挙げた質問事項

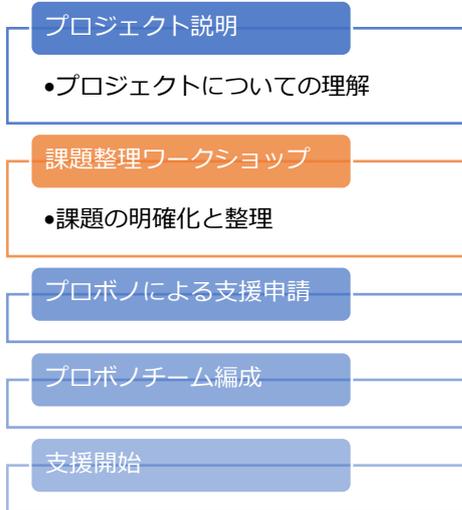
Q:プロボノプロジェクトに関連する、資金はどのように調達しましたか？

A:プロボノプロジェクトの利用は無料ですが、アンケート調査等に係る実費は町会・自治会の負担となります。当町会の場合、町会費や助成金等で資金を調達しておりそこからアンケート調査に関わる費用を拠出しました。（東中野5丁目小滝町会）

## ○課題整理ワークショップ

ワークショップの目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題を挙げ整理しました。

### <課題整理ワークショップの目的>



団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。

プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

### <ワークショップの内容>

ワークショップの目的と基本的なルールを確認したのちに、次のようなワークを行いました。まずは団体の課題だと思われることを参加者全員がおもいつくままに書き出します。次に、団体の「こんな町会・自治会の姿がよいのではないか」という中長期的な目標と照らし合わせながら優先して解決すべき課題の抽出や、解決に向けた方策を検討しました。同じグループの他団体の参加者やファシリテーターと意見交換をしたり、他団体の取り組みについても情報交換を行いました。最後に、解決策の中で、プロボノによる支援が活用できそうなところは何か、あるいは、自団体が次に取り組むべきアクションは何かを検討しました。

【写真3】課題の書き出し[1-1]をする参加者とファシリテーター（プロボノワーカー）



【写真4】 課題を重要度・緊急度に基づき分類



【写真5】 課題に対する解決策を検討し、自分たちで解決できるもの、お金で解決できるもの、スキルで解決できるもの、それぞれ何かを検討しましたで分類

【写真6】 抽出した課題を参加者同士で共有した



## 5. 参加者アンケート

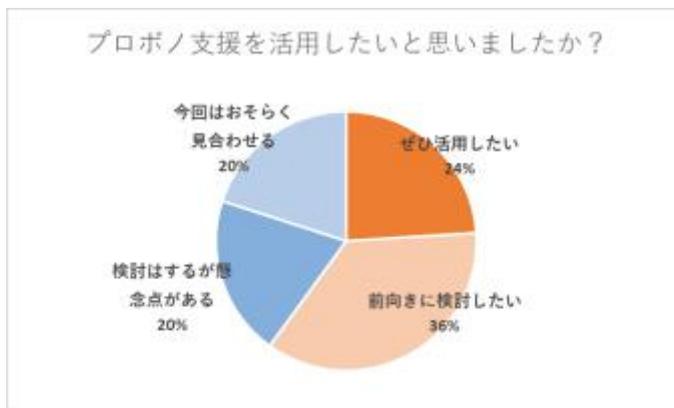
### ○件数

回答者数 52名（回収率 89.6%）

### ○結果(アンケート集計結果より一部抜粋)

Q:説明をお聞きになり、プロボノ支援を活用したいと思いましたが？

内容	人数	割合
ぜひ活用したい	12	24%
前向きに検討したい	18	36%
検討はするが懸念点がある	10	20%
今回はおそらく見合わせる	10	20%
計	50	



### ○参加者の回答（アンケートより一部抜粋）

- ・ ワークショップはとても良かったが、もう少しじっくり話し合う時間がほしかった。
- ・ 他町会の方々の悩みや事例を聞いて大変参考になりました。
- ・ 自治会活動に取り組んでいる方々には大変有意義なことだと思います。
- ・ 東中野の活動聞いて参考になりました。今後の町会の活動役立てればと思いました。
- ・ とても良い企画だと思います。町会・自治会の直面している課題だと思いますので、(今回、当町会が参加できなくても)次年度も続けてください。
- ・ 町会・自治体のコラボが中心ですが、地元商店会の協力をも対象にすればもっと充実した体制が出来ると思います。

以上

認定 NPO 法人 サービスグラント

代表理事 嵯峨 生馬

事務局 小林 智穂子、清野 あずみ

【連絡先】

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷一丁目 6 番 3 - 5 0 2 号

電話番号: 03-6419-4021

電子メール: [info@servicegrant.or.jp](mailto:info@servicegrant.or.jp)